

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 八百津高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和7年6月10日(火) 15:30~17:10
- 3 開催場所 八百津高等学校 会議室
- 4 参加者
- | | | |
|--------|--------|-----------------|
| 会長 | 服部 孝義 | 八百津中学校校長 |
| 副会長 | 山口 茂義 | 錦津コミュニティセンター館長 |
| 委員 | 上北 泰久 | 八百津東部中学校校長(欠席) |
| | 河村 浩之 | 錦津小学校校長(欠席) |
| | 杉山 文 | 八百津町教育長職務代理者 |
| | 武市 由紀子 | 八百津町教育相談アドバイザー |
| | 林 善次 | 同窓会長 |
| | 樋口 隆敏 | P T A会長 |
| | 可児 琴音 | 八百津高校卒業生代表(欠席) |
| オブザーバー | 加藤 大博 | 岐阜県議会議員 |
| | 金子 政則 | 八百津町長(欠席) |
| | 社本 勝義 | 八百津町教育長 |
| | 佐合 智尚 | 佐合食品専務(欠席) |
| 学校側 | 岩島 章雄 | 校長 |
| | 小林 和豊 | 教頭 |
| | 兼松 義治 | 学習支援部部长(教務主任) |
| | 井戸 礼子 | 生徒支援部部长(生徒指導主事) |
| | 吉井 賢吉 | 進路支援部部长(進路指導主事) |
| | 貝川 友子 | 職員代表(記録) |

5 会議の概要(協議事項)

(1) 令和7年度の学校運営計画等について

意見1: 不登校の支援について具体的にどのように考えているか。

回答1: 引き続き早期対応、家庭訪問の実施、不登校の理由を決めつけず、生徒一人ひとりに寄り添った支援を考えている。

意見2: デュアルシステムで生徒と企業が合わなかった場合は、どうしているのか。

回答2: 体力中心から細かい作業へ変わることはある。また企業とのマッチングに時間をかけ、企業からの相談にも対応している。デュアルシステムで一年間実習を経験することにより、三年生の進路選択をする際に活かされている。

(2) 令和7年度の教育課程について

意見1: 学力に差があるとのこと。習熟度の高い生徒にはどのように対応しているのか。

回答1: 英語、数学は4分割。希望する生徒にはプリントにて個別対応している。

(3) その他

意見 1 : 地区外 (遠方) からくる生徒が八百津高校を選ぶ理由は何か。

回答 1 : 先輩が来ているから。本校にきて成長できたということが伝わっているから。

意見 2 : 以前は、皆勤賞の生徒が多かった印象だが、現在はどのようになっているか。

回答 2 : コロナ前は、7割近くが皆勤であった。コロナ禍を経て変わってしまった。引き続き生徒会の挨拶運動や遅刻ゼロの日をつくり欠席を減らす運動もしていきたい。

意見 3 : 生徒をチームで見極めるという学校の方針が浸透しており、学校運営のPDCA サイクルは、シンプルでわかりやすく、チームワークを感じられ非常によい。

意見 4 : 企業とのマッチングを大切にされる進路支援についても素晴らしいと感じた。

意見 5 : コミュニケーション能力が大切であると言われている。身近な大人である教員との関係はとても大切である。教育はブームではなく見識だと考える。引き続き「寄り添う」姿勢で取り組んでほしい。

6 会議のまとめ

- ・今年度の学校経営計画等について全委員から承認が得られた。